

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
令和5年7月発行・第195号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877

7月の生活目標

- ・遊んだ後は、みんなで片付けましょう
- ・自分のことは一人でやってみましょう

「雨の日の散歩」

先週の雨の日、保育園の2歳児さんが長靴はいて傘をさして、広い運動場をお散歩していました。あちこちにできた水たまりを嬉しそうに、ピチピチ、チャブチャブと走ったり土のドロドロ感を確かめたり…。好奇心と探究心は尽きないようでした。先生から声をかけられると、傘に落ちる雨音を聞いてどう表現しようか悩んでいるようなそぶりも感じられました。乳幼児期には、五感（聴覚、視覚、触覚、嗅覚、味覚）を育てましょう！が合言葉です。感じたことを言葉や絵で表現できるようになると会話も増えていきます。

そんな子ども達を見て嬉しくなった私が、「幼稚園のお庭の方に行くとカタツムリがいるよ〜！」と声をかけると、「どこ？どこ？」と、足早に樹木が茂る庭の方へ向かって行きました。保護者の方には、泥だらけになることを予めお知らせして行うお散歩ですが、子ども達の感性を磨くには欠かせない体験です。少し大きな子ども達は、砂場や水たまりを泥まみれになってその感触を体験する機会も作っています。園の中だからこそ安心してできる体験ですね（＾＾）。夏の間には色々な体験をして、感性を磨きましょう！

（三光保育園園長）

7月の「子育て支援事業」のお知らせ

- 7月10日(月)…なかよしミックス(水遊び)(先着10組)
- 7月12日(水)…赤ちゃんの日(水遊び)(先着10組)
- 7月18日(火)…育児講座(トイレトレーニング)(先着10組)

※時間:10時~12時

※開催場所:子育て支援センター・運動場・防災センター

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

※事前の電話での申し込みが必要です。

7月分の申し込みは、7/3~9時半~17時です。

8月の子育て支援はありません。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をしていただくのが、一番お勧めです。

☆「なかよし2歳」

7月11日(火)・9月8日(金)

☆「なかよし1歳」

7月4日(火)・6日(木)・9月6日(水)・7日(木)

☆7月・8月の「フリーデイ」について

保育園の支援センターを開放します。※事前の予約はいりません
日時:7月13日(木)・20日(木)・21日(金):水遊び
8月29日(火)・30日(水):水遊び

食育講座のお知らせ

親子クッキング教室を行います。

対象年齢は、3歳以上~小学生低学年

両日とも先着**10組**とさせていただきます。

日時 : ① 8月2日(水)・② 8月3日(木)

時間 : 10:00~13:00

内容 : 2日:「身近な食べ物についてしろろ」

3日:「夏野菜を使ってピザとスムージーを作ろう」

※詳しくは、7月3日にさんこうぽぽらのHPでお手紙をアップしますので、ご覧ください。

7月14日(金)11時より、電話予約を受け付けます。後日、申込書の提出をお願いします。

さんこう・ぽぽら園庭開放について

【開園日】

★月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

【時間】

★9:00~12:30…園行事の為、利用できない場合があります。

★12:30~13:30…昼休みの為閉園

★13:30~16:00

※希望の場合は、電話でお問い合わせください。

「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。

日時: 7月7日(金)七夕会

8月28日(月)バスハイク

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

※事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

子どもの急病・急変時！ 判断に迷ったら、電話相談「#8000」へ



西九州大学 看護学部看護学科 助手 森園久美

#8000 事業は、平成 22 年から全国の都道府県で実施されており、子育て中の保護者の不安に寄り添う事業として活用されています。佐賀県でも夜間のケガ・急病等の際、保護者の方々が対処に戸惑う時や医療機関を受診すべきかどうか判断に迷った時に、応急対処の方法や受診の可否等について助言を行う「電話相談窓口：#8000」を開設しています。

右の図から分かるように年々、相談件数は増え続け、令和 3 年度は全国で約 94.6 万件の相談が寄せられました。

私は、電話相談窓口の相談対応者として、電話を受ける際には、子どもの症状を正確に把握することを心がけていまし

た。そのためには、まず相談者による具体的な情報提供が必要になります。しかし、不安そうな声でどうしたらいいのか分からない場合や、びっくりして慌てた状態で電話され、子どもの状態が分かりにくいことも多くありました。相談者には、ゆっくり落ち着いて話していただけるように、「どうされましたか？」と優しく話しかけ、年齢、症状、場所等必要な情報をひとつひとつ質問していきながら、子どもの状態を把握していきます。その結果、自宅待機でいいのか、病院受診をしたほうがいいのか判断して助言していました。土曜日や日曜日の夕方からは、相談件数は多くなります。1 件の電話相談が終わり、電話を切ったら、またすぐに次の電話が鳴ることも多く、相談者の方の中には「何度もかけてやっとながった。」という声も聞かれました。何件かの電話が集中した際には、つながらない事もあるようです。相談者の方は、病院受診の判断がつかず、悩んだ末、電話をかけてこられることも多く、もっと早く相談すればよかったとの声も聞かれました。子どもの状態が「いつもと違うな？」と思ったら、迷わず電話相談窓口「#8000」にご相談ください。

- 【受付時間】
- ・平日：19 時から翌朝 8 時まで
 - ・土曜日：13 時から翌朝 8 時まで
 - ・日曜日・祝日：朝 8 時から翌朝 8 時まで

